

深刻化するこどもたちの経済情勢と学習格差

今こそ危機意識をもって対策と向き合おう

去年の 8 月、新聞紙面にこどもたちの家庭内における経済格差が、深刻な学習格差を生み社会問題化している記事が連載されました。この実状に、茨城県社会福祉協議会が学習支援の無料塾を立ち上げたことはまだ記憶に新しいところですが、すでに私たち with you ではこれに先立って市民レベルからの学習支援立ち上げへの準備作業を進めていました。

「発展途上国ならいざ知らず、まさか財政豊かなこの日本社会で…」

そう、大半はそうのように考えるのが常識です。しかし、現実には起こっています。例えば 3 年前の東日本大震災で家や家族を失い、あるいは学校を失ったこどもたちが一気に劣悪な経済と学習環境に置かれたのです。それに対する支援や救済の手も差し伸べられたのも事実です。「しかし、これは災害自体が直接の引き金になって起こった緊急的なもので、一般社会では…」

果たしてそうでしょうか？

豊かなはずの社会の片隅で、潜在的に進んでいたこどもたちの家庭環境による経済格差、ひいては学習格差を生じている実態。これは普段、目に見えにくいものです。過去においても問題視はされましたが、どこか「行政の管轄」や「経済面の救済」に視点が偏り、そこで暮らすこどもたちの実状に、どの程度光があてられたのでしょうか。

遅まきながら、国や県の行政も「こどもの貧困対策法」、「生活困窮者自立支援法」の制定等の動きが見えはじめたものの、具体的な政策、対応策の立案、発動までにはなお時間がかかりそうです。先進地域の NPO や任意団体には、行政任せではなく自らの手で生活困窮世帯のこどもたちへの学習支援に立ち上がっているところがあります。今こそ、この問題に誰もが危機意識を共有し、市民レベルから問題解決の糸口をたぐりながら行政への施策実施加速へとつなげて行くべきでしょう。

皆さんからのご支援、ご協力をお願い致します。



代表理事 安田 尚道

「2014年度 with you 第13回通常総会」を開催

本年度 with you の通常総会を平成 26 年 6 月 28 日(土)午後 3 時 30 分から午後 4 時 45 分まで、日立市会瀬交流センターの会議室にて開催しました。会員総数が 28 名中、出席者は 18 名、委任状が 3 名、そして書面表決 7 名となり、総会は成立しました。



《2013 年度事業報告》 昨年度の事業報告では、「議員と NPO の意見交換会」が行われました。参加者 33 名中、議員の参加が 7 名、NPO 活動への理解を深めることをテーマに話し合いを実施しました。

赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」助成事業では、放射能による親子ストレス軽減を支援するための遊び活動を主体に、いわき市内の幼稚園児と保護者等を対象に常磐大学附属幼稚園やかみね公園で外遊びやゲームなどを行って楽しんでいただきましたが、時ならぬ大雪に阻まれて中止になってしまった催しが出たのは残念でした。

かみね公園入り口花壇管理事業では、延べ 1,000 名以上のボランティアが活動し来園者の目を楽しませました。

《2014 年度事業計画について》 今年度の事業計画については市民活動の支援として引き続き「かみね公園ボランティア花友」の花壇づくり活動を事務局としてサポートします。市民農園事業については、「ふれあい貸し農園 とまと倶楽部」の運営・管理を行います。社会の問題解決の一環としては、子どもの貧困の問題解決のため、特に学習支援の面から、学習環境に恵まれない家庭の児童や生徒に対しての仕組みづくりを進めます。東日本大震災で被災した子どもと保護者を支援するための事業を今年度も継続して実施します。また、委託事業であるかみね公園入り口花壇事業についても拡充を図ります。



公益財団法人 JKA 東日本大震災支援補助事業「子ども元気プロジェクト2014」

放射能による親子のストレス軽減と支援するための遊び活動を2014年度も実施して、これまでに6回開催いたしました。引き続き今年の3月まで、いろいろな催しを企画していきます。



←2014年6月8日(土)
「こどもまつり2014
かみすわ山荘に眠る 日
立の宝を探せ」

於：日立市 かみすわ山荘
参加者総数 110名



←2014年7月5日(土)
「段ボールで迷路遊び」

於：水戸市 常磐大学幼稚園
参加者総数 174名

→2014年9月28日(土)
「国営ひたち海浜公園で
遊ぼう」

於：ひたちなか市 国営ひ
たち海浜公園
参加者総数 25名



→2014年11月2日(日)
「つくば山で登山をしよう」

於：つくば市 筑波山
参加者総数 35名



かみね公園ボランティア「花友」が 国土交通大臣賞を受賞

かみね公園の頂上東側の広場を彩る大花壇。ここで活動をしているボランティアグループ「花友」は今年、設立以来ちょうど10周年を迎えました。これまでも茨城県知事賞をはじめ、さまざまな賞に輝き、その活動は県内外でも高く評価されて来ましたが、このほど栄えある節目の年に「みどりの愛護功労者国土交通大臣表彰」を受賞いたしました。

この賞は長年に渡り国内の地域や公共施設を中心に「みどりの保全と環境美化」についての活動に貢献し、大きな功績のあった団体や個人に対して贈られるもので、「花友」は茨城県を代表して平成25年12月に受賞が内定していたものです。表彰式は平成26年5月4日の緑の日に徳島県で開催された「全国みどりのつどい」式典で行われましたが、遠距離であったため出席を見送りました。

その後、感謝状と記念品は国土交通省から茨城県公園街路課を経由して日立市へ届けられ、7月24日午後2時、日立市役所において感謝状の授与式が行われました。式へは「花友」から蛭田三雄代表をはじめ各花壇づくりのグループ代表4名が出席し、田所日立市都市建設部長から感謝状と記念品が手渡されました。

「しかし、活動はまだこれから。今に満足することなく、さらなる充実を図って美しいかみね公園にしたい」と会員一同、豊富を語っていました。

←2014年11月8日(土)
「自然の中で遊ぼう
～みんなで仲良く BBQ～」

於：日立市 奥日立きららの里
参加者総数 30名



とまと倶楽部

酷暑に大雨の試練の夏と病虫害の秋を乗り越えて収穫

東滑川町にある貸農園「とまと倶楽部」。酷暑に異常気象が続いた今年の夏、病気や害虫に悩まされた秋、どの区画の皆さんも農作物の管理に大変な御苦勞をされましたが、その丹精が実って作物が順調に育ちました。



会員募集

- 正社員 個人 5,000円 団体 10,000円 学生 3,000円
- 賛助会員 個人 1口 5,000円を1口以上
団体 1口 10,000円を1口以上
- 情報会員 個人 3,000円 団体 5,000円

※詳細は事務所にお問い合わせください

編集後記

大相撲九州場所横綱白鵬が通算32回目の優勝を果たし、昭和の大横綱大鵬と並ぶ歴代1位の記録を達成したことが話題になりました。大鵬が活躍した昭和40年代はすでに半世紀近くも前です。大鵬といえばその偉大さがかりが喧伝されますが、その少年時代、貧困家庭に育ち、納豆売りや新聞配達で家計を支えながら苦学生生活を送ったことなどは人々の記憶から忘れ去られています。もし彼に相撲界入りの機会が訪れなければ、果たしてどのような人生が待っていたことでしょうか。経済発展を遂げたはずの現代の我が国なのに、児童貧困や生活困窮家庭の問題が、なお今も陰を落とし続けています。さればこそ未来ある子どもたちのためには、飛躍へとつながる学びの機会がもっと与えられて良いはずではありませんか。今はほんのささやかな取り組みでも、子どもたちの将来に大きな可能性へとつながるきっかけづくりをしたいと思っています。